

平成20年4月 1日から
平成21年3月31日まで

平成20年度（第62年度）
事業報告書・決算書

財団法人 三越厚生事業団

平成20年度（第62年度）事業報告

本年度は、二つの大きな制度改革に対する当事業団の体制づくりに専心する年、と捉え積極的な活動を行ってまいりました。

第一は 20年12月1日より施行された「公益法人改革三法」への対応であります。本年4月、事業団内に「公益法人改革研究会」プロジェクトチームを結成し、計20回にわたって当事業団のこれまで果たしてきた使命と役割、事業活動内容、財務・財産・会計の状況、今後将来に向けた事業基盤の在り方など、新法に基づく「公益法人」の認定を受ける為に克服すべき課題も含めて 整理・検討する活動をおこなってまいりました。

12月の評議員会・理事会では「新法に基づく公益財団法人の認定を受けるべく申請すること」「平成22年秋に申請すること」の大きな方向性を確認し、21年度を具体的な申請準備の年と位置付けることといたしました。

第二は 20年4月より実施された「特定健診・特定保健指導」への対応であります。

19年度から検討してきた対応策に基づき、健診項目の追加修正を含めた健診項目体系の再構築、システム構築、健診情報提供のしくみづくり、などを整備し 万全の体制でスタートを切ることができました。

次に、本年度実施事業のなかで特筆すべき点を総括いたしますと、

ひとつは、保健衛生思想の普及活動の強化であります。本年は 500名規模の「健康セミナー」を4回、200名規模の「健康講座」を6回と前年より開催回数を増やして展開しました。当事業団医師や外部の著名な先生を講師に、生活習慣病から身を守るためのわかりやすい身近なテーマで講演を行い、毎回会場満員の盛況でありました。

ふたつめは、高質な健診・診療の体制づくりであります。

本年は、施設内空調メンテナンス工事を行うとともに、腹部超音波撮影装置3台の入れ替えとデジタル化、胃内視鏡の最新鋭スコープの導入とデジタル化、胃X線のデジタル化、など最新医療機器の導入に力を入れました。また毎月1回職員研修会を開催し、職員の接遇の在り方や医療の知識について講習を行い、高質な医療体制の構築に向け研鑽に励みました。

さて、当事業団の対処すべき課題ではありますが、

最大の課題は、ここ数年続いている事業団事業収支の赤字からいかに脱却するか、という課題であります。公益法人として果たすべき公益目的事業への費用投資をしっかりと行いながら収支のバランスのとれた事業構造に転換することが急務であり、新たな健診受諾先の開拓や一般診療部門の抜本的な改革が必要であると認識しており、21年より実施可能な改善策からひとつひとつ実行に移してまいり所存であります。

I 寄附行為事項

1. 生活習慣病の予防、診断治療に関する研究事業（寄附行為第4条第1号事業）

当事業団役員並びに職員による研究活動

(1) 臨床的研究の発表

平成19年度に実施した各種健診の統計的調査と観察成績を「事業年報」第35号に発表し、各職域健康保険組合及び関連財団法人等277団体へ配布した。

(2) 平成19年度各部門研究とその発表会の開催

○実施日 7月2日(水)

○会場 三越総合健診センター ロビー

○発表 発表は10題で審査の結果以下の3題について表彰した。

最優秀賞 医・薬科 横山 雅子

「生活習慣・ストレスと *Propionibacterium acnes* の皮膚菌体量との関連に関する横断研究」

最優秀賞 放射線科 和田 哲夫

「高齢者における胃バリウム検査の負担軽減を考える」

優秀賞 看護科 黄 永実 他看護師全員

「内視鏡検査時の抜針後の止血方法の検討」

(3) 当財団医師等職員の研究成果発表は以下の通り。

①当事業団医師の外部講演会（医師、医療従事者等への啓蒙活動）

氏名	参加月	名称	演題	開催地
山下 毅	4月	日経ラジオ ドクターサロン	高感度CRP	東京都
船津 和夫	9月	第12回コーヒーサイエンスセミナー 2008	コーヒーの脂肪肝予防効果	東京都
横山 雅子	9月	アドバンスファーマシー勉強会	身近な頭痛と受診勧奨の必要性の有無—国際頭痛学会分類第2版を踏まえて	東京都
山下 毅	12月	西新宿保健センター	血液サラサラ教室—血管から美しく健康になる—脂質異常症の病態と予防（コレステロールや中性脂肪）	東京都
中村 治雄	2月	メバロチン発売20周年記念講演会	MEGA Study をめぐって	東京都
山下 毅	2月	文祥堂フォーラム	生活習慣と動脈硬化—メタボリックシンドロームと脂質異常症を予防するために—	東京都
横山 雅子	3月	新宿老年医学セミナー	高齢者の血圧管理を考える	東京都

②学会における演題発表

氏名	参加月	名称	演題
近藤 修二	4月	第105回日本内科学会講演会	Metabolic syndrome の構成項目数による心機能及び高感度CRPの相違
中村 治雄	6月	第50回日本老年医学会学術集会シンポジウム	MEGA Study (高脂血症に関する一次予防大規模試験)
船津 和夫	6月	第11回コーヒー助成研究発表会	コーヒーの脂肪肝
中村 治雄	7月	第14回日本血管内治療学会特別講演	動脈硬化性疾患の一次・二次予防ー Clinical lipidomics の面よりー
船津 和夫	9月	第49回日本人間ドック学会	コーヒー飲用は高血圧の発生を抑制する
横山 雅子	11月	第36回日本頭痛学会	潜在する頭痛ーどういふ啓蒙が良いのか？

③当事業団医師の発表論文

論文名	氏名	掲載雑誌名
Efficacy and Safety of the combined use of diacylglycerol oil with other cholesterol-lowering agents p166-172	T.Yamashita, M. Takeshita, H. Nakamura, et al.	Diacylglycerol Oil, 2nd Edition AOCS Press 2008,
スタチンと横紋筋融解症	中村 治雄	臨床薬理 2008 ; 39 : 33S
Primary prevention of cardiovascular disease with pravastatin in Japan(MEGA Study)	水野 杏一 中村 治雄	臨床薬理 2008 ; 39 : 69S-70S
スタチンの薬理作用とその使用法	中村 治雄 山下 毅 細合 浩司	診断と治療 2008 ; 96 : 1279-1287
Phytosterols dissolved in diacylglycerol oil reinforce the cholesterol-lowering effect or low-dose pravastatin treatment.	M. Takeshita, T. Yamashita, H. Nakamura, et al.	Nutrition, Metabolism & Cardiovascular Diseases 2008;18: 483-491
The lower, the better と The younger, the better	中村 治雄	Pharma Medica 2008;26:5-6
糖尿病症例をみたらまずスタチンを投与 (Lancet2008:371:117-125 解説)	中村 治雄	MMJ 2008;4:656-657
動脈硬化性疾患の一次予防ーメタボリック シンドロームを含めて(第5回栄養とエイジング 国際会議)	中村 治雄	ILSI 2008;94:16-29
Practical risk prediction tools for coronary heart disease in mild to moderate hypercholesterolemia in Japan originated from the MEGA Study data.	T. Teramoto, Y. Ohashi, H. Nakamura, et al.	Circ J 2008; 72: 1569-1575

The relationship between the effect of pravastatin and risk factors for coronary heart disease in Japanese patients with hypercholesterolemia.	T. Ishikawa, K. Mizuno, H. Nakamura, Et al.	Circ J 2008; 72: 1576-1582
MEGA Study	中村 治雄	日本臨床 増刊号 2008 ; 66 : 611-615
Prognostic significance of plasma osteopontin levels in patients undergo percutaneous coronary intervention.	R. Kato, Y. Momiyama, H. Nakamura, et al.	Circulation J 2009;73: 152-157
MEGA Study (高脂血症に関する一次予防大規模試験) 第 50 回日本老年医学会学術集会記録	中村 治雄	日本老年医学会雑誌 2009 ; 46 : 18-21
健診者におけるびらん性および非びらん性胃食道逆流症の臨床的検討	船津 和夫	人間ドック 22 (5) : 811-817
肝臓疾患 (肝膿瘍・うっ血肝など、老化に伴う消化器の病気と症状 : 肝硬変、胆石など)	船津 和夫 (分担執筆)	新版ホームメディカ 家庭医学大事典
職域における胃がん・大腸がん検診の有効性とその評価	船津 和夫	Medicament News 8-11 (2008 年 8 月 15 日)
Effects of hydroxyhydroquinone-reduced coffee in patients with essential hypertension	Kazuo Funatsu	J Health Science 54 (3): 302-309
放置すると肝硬変を招く危険性のある脂肪肝をコーヒーが予防すると調査で判明	船津 和夫	安心 平成 20 年 12 月号
CRP (高感度CRP)	山下 毅 船津 和夫	健診判定基準ガイドライン 改訂新版(人間ドック学会), (2008) 129-131 文光堂
メタボリックシンドロームと脂質異常症	山下 毅	臨床栄養 2008(113) 580-581
リスクスコアをどう使うのか (医師の立場から)	山下 毅	動脈硬化予防 2009 (8) 26-32
リスクスコアを Medical decision making にどう使うか (鼎談)	山下 毅	動脈硬化予防 2009 (8) 62-73
Health risk appraisal models for mass screening for esophageal and pharyngeal cancer:an endoscopic follow-up study of cancer-free Japanese men	Masako Yokoyama, Akira Yokoyama, et al.	Cancer Epidemiol Biomarkers Prev 2009; 18(2): 651-5
ICHHD に基づいた正確な知識の啓発を	横山 雅子	Medical Tribune February 19,2009, p20
Health risk appraisal models for mass screening for esophageal cancer in Japanese men	Masako Yokoyama, Tetuji Yokoyama, et al	Cancer Epidemiol Biomarkers Prev 2008; 17(10): 2846-54

第 1 号事業 総計 事業費 4, 269千円 予算 4, 670千円

2. 生活習慣病その他重要な疾病の予防及び健康の保持増進に関する事業（同条第2号事業）

(1) 低額集団健診事業（事業費 473,749千円）

- ・施設内空調機器の更新を中心とした改善工事及び各種検査機器の入れ替えとデジタル化等の高質化を実施した。
 - ・予防医学面から地域、職域を対象とした総合健診活動及び家庭の主婦を中心とした女性健診を実施し、生活習慣病その他重要な疾病の予防及び早期発見に努めると共に、健診結果に基づき健診者の生活指導を積極的に行い健康の保持、増進に寄与した。
- 平成20年度の実施状況は次の通りである。

集団健診

○生活習慣病健診	10,358名（前年度 9,835名）
○女性健診	2,599名（前年度 2,921名）
○生活習慣病健診特別コース	90名（前年度 114名）
計	13,047名（前年度 12,870名）

(2) 生活習慣病健診報告懇話会（事業費 963千円）

当事業団で集団健診を行っている企業並びに健康保険組合の参加を得て、小講演会を開催すると共に生活習慣病健診所見に基づいて参加者と意見の交換を行い、今後の健診事業活動の参考とすべく開催した。

- 実施日：平成20年12月11日（木）
場所：新宿京王プラザホテル本館43階「コメント」「スターライト」
参加人数：33事業所 70名
報告会：1) 挨拶・コーディネーター：三越診療所所長 船津 和夫
2) 基調報告：三越診療所副所長 山下 毅
「健診結果データから見る業種別・企業別特徴と指導」
3) 講演：「保健指導の実践事例の紹介」
講師：高輪メディカルクリニック院長 久保 明氏
4) 質疑応答

(3) 第2回健康推進事業研究援助（事業費 6,015千円）

東京都内における特別養護老人ホーム等の社会福祉法人を対象として、施設入所者の健康を適切に維持または増進することに関する研究計画に対して援助金を交付した。

対象施設：東京都所管による社会福祉法人（特別養護老人ホーム・養護老人ホーム・軽費老人ホーム・知的障害者更正施設）459法人

交付施設：①社会福祉法人福音会医務室

研究課題：「認知症を有する後期高齢者に対する音楽療法の有効性の検討―殊に心臓自律神経能および細胞性免疫能を中心として」

研究代表者：医務室医療統括部長 栗田 明

援助金額：200万円

②医療法人財団河北総合病院

研究課題：「生活習慣記録機を用いた運動指導の有用性について」

研究代表者：循環器内科部長（医師） 大 島 祥 男
リハビリテーション科理学療法士 足 立 和 恵

援助金額：200万円

③医療法人社団京浜会 京浜病院

研究課題：「アルツハイマー型認知症周辺症状の標準的治療法の確立と、
同症状改善を目的とした介護方法の開発」

研究代表者：京浜病院院長 熊 谷 頼 佳

援助金額：200万円

また、第1回援助金交付施設の研究成果報告を以下の通り実施した。

開催日時：平成20年7月2日（水） 14：00～

場 所：三越総合健診センターロビー

報 告：研究代表者 社会福祉法人 白十字会 白十字特別養護老人ホーム 言語聴覚士 田中 治子氏

研究課題：「特別養護老人ホームにおける摂食・嚥下能力の低下に対応した食形態の選択が与える誤嚥
性肺炎予防効果について」

第2号事業 総計 事業費 **480,728**千円 予 算 **482,776**千円

3. 生活習慣病その他重要な疾病の予防、診断、治療に関する助成事業（同条第3号事業）

(1) 第36回三越医学研究助成（助成金総額 2,050万円）

平成20年度三越医学研究助成並びに留学渡航費助成実行委員会開催

開催日：研究課題決定 5月16日（金）

審査員決定 8月26日（火）

助成対象者決定 9月26日（金）

①審査委員長 常務理事 中村 治雄

委員 常務理事 小野 俊一

三越診療所所長 船津 和夫

三越診療所副所長 山下 毅

埼玉医科大学 教授 鈴木 洋通

慶應義塾大学医学部 教授 広瀬 信義

日本医科大学 教授 大庭 健三

兵庫医科大学 教授 松本 誉之

東京大学 教授 鈴木 康夫

②研究課題の決定

1. 「食塩摂取と循環器疾患」
2. 「RAS系異常と動脈硬化」
3. 「消化器疾患とサイトカイン」
4. 「加齢と生活習慣病」

③選考会 上記テーマにおける各専門分野医師2名及び審査委員により選考を行った。選考に当
っては応募者の研究機関名、氏名をブラインドにして評価。総合点により上位を選考し、

助成金額案を付して理事長に推薦し決定。

④贈呈式 11月13日(木)に三越日本橋本店6階「三越劇場」にて開催の「第25回健康セミナー」と併せて贈呈式を行い、助成金をそれぞれ交付した。

⑤助成対象者は以下の通り

第36回 三越医学研究助成対象者

氏名	年齢	所属機関	課題分類	研究課題	助成金
平塚 義宗	41	順天堂東京江東高齢者医療センター 眼科 先任准教授	A	網膜血管径変化を指標とした食塩摂取が高血圧に与える影響についての研究	350万円
田上 昭人	48	国立成育医療センター 研究所 薬剤治療研究部長	B	バソプレッシンV1a受容体を介するレニン・アンジオテンシン系(RAS)および血圧調節機構の解明	300万円
金井 隆典	46	慶應義塾大学医学部 消化器内科 准教授	C	炎症性腸疾患の永続化を決定する腸炎惹起性CD4Tリンパ球のインターロイキン-7による制御メカニズム	300万円
篠崎 大	47	東京大学医科学研究所 附属病院 外科 准教授	C	進行大腸癌に対する腫瘍新生血管関連遺伝子VEGFR1、VEGFR2由来ペプチドを用いた腫瘍特異的ワクチン療法における血清サイトカイン濃度測定による効果予測	200万円
中江 進	34	東京大学医科学研究所 フロンティア研究拠点 中江グループ 特任講師	C	大腸炎の発症機構におけるマスト細胞由来のサイトカインの役割	200万円
佐藤 隆	43	東京薬科大学薬学部 准教授	D	加齢性皮脂産生低下による乾皮症の病態機構解明	150万円
宮下 和季	36	慶應義塾大学医学部 腎臓内分泌代謝内科助教	D	血管ホルモンによるミトコンドリア制御に基づく抗加齢療法とメタボリックシンドローム治療法の開発	300万円
森田 啓行	41	東京大学大学院医学系研究科健康医科学創造講座 特任准教授	D	食生活習慣改善による新しい心保護治療の開発	150万円
平山 順	32	東京医科歯科大学難治疾患 研究所MTTプログラム・ 特任講師	D	概日リズムと老化に伴うメタボリック症候群の相互関係の分子機構	100万円

(注) 研究課題

A 食塩摂取と循環器疾患

B RAS系異常と動脈硬化

C 消化器疾患とサイトカイン

D 加齢と生活習慣病

(2) 第9回海外留学渡航費助成

海外留学を志す若手医学研究者をバックアップする為、留学費用の一部として渡航費の助成を東京都内の大学医学部、医学研究施設、病院等を対象に公募を実施したが、今回は応募がなかった。

医学研究助成、海外留学渡航費助成共に、応募対象は東京都内の大学医学部、研究機関、病院等とし、244件のご案内先に対し5月初旬より公募を開始し、8月15日(金)締め切りまでに医学研究助成17件の応募があり、外部審査も含め、審査委員会による厳正な審査の結果、助成対象者を決定した。

第3号事業 総計 事業費 **21,619**千円 予算 **22,803**千円

4. 健康保持増進のための援助活動(同条第4号事業)

(1) 東京都児童福祉施設競技大会

健康の保持増進を目的とした東京都後援の児童福祉施設競技大会に以下の通り寄贈を行った。

①平成20年8月1日(金) 東京都児童福祉施設競技大会開催

ドッジボール・バレーボールの部 於 町田市総合体育館(町田市南成瀬5-12)

- ・主催: 社会福祉法人東京都社会福祉協議会
- ・後援: 財団法人報知社会福祉事業団、財団法人三越厚生事業団
- ・参加施設数: ドッジボールの部 23施設
バレーボールの部 11施設
- ・競技結果: ドッジボールの部
優勝 のぞみの家
準優勝 救世軍世光寮
三位 カリタスの園小百合の寮
バレーボールの部
優勝 星美ホーム
準優勝 精舎児童学園
三位 今井城学園

尚、当事業団よりドッジボール23個、バレーボール11個、ノート700冊を寄贈した。

②平成20年8月4日(月)~5日(火) 東京都児童福祉施設競技大会開催

野球の部 於 三鷹市大沢総合グラウンド(三鷹市大沢5-7-1)

- ・主催: 社会福祉法人東京都社会福祉協議会児童部会
社会福祉法人テレビ朝日福祉文化事業団
財団法人毎日新聞東京社会事業団
財団法人報知社会福祉事業団
- ・後援: 東京都・財団法人三越厚生事業団
- ・参加者: 10施設
- ・競技結果: 優勝 東京都石神井学園
準優勝 至誠学園

三 位 星美ホーム・調布学園

尚、当事業団より野球道具一式10施設分、ノート300冊を寄贈した。

(2) 三多摩児童養護施設駅伝・マラソン大会

第29回三多摩児童養護施設駅伝・マラソン大会へスポーツタオルを寄贈した。

- ・開 催 日：平成21年2月11日（水） 建国記念の日
- ・場 所：国営昭和記念公園（立川市）
- ・参加施設：12施設 300名
- ・寄 贈 品：スポーツタオル 300枚

(3) その他協力

援助金を次の通り交付した。

- ・財団法人がんと子供を守る会（小児がん撲滅運動への援助） 10万円

第4号事業 総計 事業費 **1,018**千円 予 算 **1,710**千円

5. 保健衛生思想の普及（同条第5号事業）

「生活習慣病」をテーマに、新聞等の媒体を介して広く一般の方々から参加を募り、健康セミナー及び健康講座を開催した。

<平成20年度開催結果>

- 回 数：10回（健康セミナー4回・健康講座6回）前年4回（健康セミナー2回・健康講座2回）
- 参加者数：延べ 2,676名（前年 1,052名）

内容は以下の通り。

(1) 健康セミナー・健康講座

①第23回健康セミナーを開催した。

テ ー マ：「生活習慣病から身を守るには」

開催日時：5月2日（金） 午後1時00分～3時30分

会 場：三越日本橋本店6階「三越劇場」

主 催：財団法人三越厚生事業団

後 援：日本動脈硬化学会・日本人間ドック学会・毎日新聞社

第1部講演：演題「食塩と心臓病、脳卒中」

講師 大鈴 文孝氏（防衛医科大学校循環器内科教授）

第2部講演：演題「野菜、果物と心臓病、脳卒中、癌」

講師 津金 昌一郎氏（国立がんセンターがん予防・検診研究センター予防研究部長）

参加人員：492名

②第24回健康セミナーを開催した。

テ ー マ：「生活習慣病から身を守るには」

開催日時：7月11日（金） 午後1時00分～3時45分

会 場：三越日本橋本店6階「三越劇場」

主 催：財団法人三越厚生事業団

後 援：日本動脈硬化学会・日本人間ドック学会・毎日新聞社

第1部講演：演題「安心してお薬をのむには」

講師 藤村 昭夫氏（自治医科大学医学部臨床薬理学部門教授）

第2部講演：演題「横紋筋融解症は防げる」

講師 中村 治雄（三越厚生事業団常務理事・防衛医科大学校名誉教授）

参加人員：480名

③第25回健康セミナーを開催した。

テーマ：「生活習慣病から身を守るには」

開催日時：11月13日（木） 午後1時00分～2時15分

会場：三越日本橋本店6階「三越劇場」

主催：財団法人三越厚生事業団

後援：日本動脈硬化学会・日本人間ドック学会・毎日新聞社

講演：演題「高血圧から身を守る～食塩摂取を減らすには～」

講師 藤田 敏郎氏（東京大学大学院医学系研究科内科学教授）

参加人員：483名

④第26回健康セミナーを開催した。

テーマ：「生活習慣病から身を守るには」

開催日時：2月10日（火） 午後1時00分～3時45分

会場：新宿京王プラザホテル 南館4階「扇」

主催：財団法人三越厚生事業団

後援：日本動脈硬化学会・日本人間ドック学会・毎日新聞社

第1部講演：演題「ふしぶしの痛む病気について」

講師 原 まさ子氏（東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター、
東京女子医科大学附属青山病院 教授）

第2部講演：演題「脂質異常症について」

講師 細合 浩司（三越診療所 部長）

参加人員：410名

⑤第14回健康講座を開催した。

開催日時：4月24日（木） 午後2時30分～4時00分

会場：日野市民会館「小ホール」

主催：財団法人三越厚生事業団

後援：日本人間ドック学会

講演：演題「生活習慣と消化器病」

講師 船津 和夫（三越診療所 所長）

参加人員：93名

⑥第15回健康講座を開催した。

開催日時：6月4日（水） 午後2時30分～4時00分

会場：武蔵野スイングホール

主催：財団法人三越厚生事業団

後援：日本人間ドック学会

講演：演題「ストレスとの付き合い方」

講師 横山 雅子（三越診療所神経内科・日本神経学会認定神経内科専門医・
日本頭痛学会専門医・医学博士）

参加人員：101名

⑦第16回健康講座を開催した。

開催日時：7月1日（火） 午後2時30分～4時00分

会 場：杉並公会堂「小ホール」
主 催：財団法人三越厚生事業団
後 援：日本人間ドック学会
講 演：演題 「生活習慣と動脈硬化」
講師 山下 毅（三越診療所副所長）

参加人員：171名

⑧第17回健康講座を開催した。

開催日時：9月2日（火） 午後2時30分～4時00分

会 場：板橋区立「グリーンホール」
主 催：財団法人三越厚生事業団
後 援：日本人間ドック学会
講 演：演題 「生活習慣と動脈硬化」
講師 山下 毅（三越診療所副所長）

参加人員：164名

⑨第18回健康講座を開催した。

開催日時：11月25日（火） 午後3時00分～4時35分

会 場：町田市文化交流センター6階「ホール」
主 催：財団法人三越厚生事業団
後 援：日本人間ドック学会
講 演：演題：「生活習慣と消化器病」
講師：船津 和夫（三越診療所所長）

参加人員：80名

⑩第19回健康講座を開催した。

開催日時：1月21日（水） 午後2時30分～4時00分

会 場：女性と仕事の未来館「ホール」
主 催：財団法人三越厚生事業団
後 援：日本人間ドック学会
講 演：演題：「一ストレスとのつきあい方ー慢性頭痛の視点から」
講師：横山 雅子（三越診療所神経内科・日本神経学会認定神経内科専門医・
日本頭痛学会専門医・医学博士）

参加人員：202名

(2) 広報活動

①保健衛生思想の普及のため、広報活動を次の通り実施した。

平成20年4月1日～平成21年3月10日 新宿駅構内アルプス広場の電飾広告媒体を利用し、生活習慣病予防をテーマに健康診断受診促進をアピールする広告を掲示した。

②事業年報の作成

平成19年度（平成19年4月～平成20年3月）に実施した集団健診、診療等の統計的調査と観察成績を「事業年報」第35号に掲載し、職域健康保険組合及び企業関係者、医療関係団体（病院・研究機関）、関連社団・財団法人等に配布した。

6. 診療施設の設置運営（同条第6号事業）

診療患者数延数、職域入社、定期健診延数は次の通りである。

延総数 26,485名（前年度 27,251名）

(1) 延数内訳

内科		20,174名（前年度	20,740名）
予防注射		1,288名（前年度	1,257名）
職域入社・定期健診	118社又は団体	4,355名（前年度	4,476名）
新宿区・中野区成人病健康診査		668名（前年度	778名）
合計		26,485名（前年度	27,251名）

(2) 種目別内訳とその適用患者数

国民健康保険		8,872名（前年度	8,633名）
社会保険（政府管掌）		1,580名（前年度	1,745名）
〃（組合管掌）		9,083名（前年度	9,517名）
〃（その他）		462名（前年度	546名）
自費		177名（前年度	299名）
職域入社・定期健診		4,355名（前年度	4,476名）
新宿区・中野区成人病健康診査		668名（前年度	778名）
合計		25,197名（前年度	25,994名）

II 管理・運営事項

1. 理事会・評議員会の開催

①開催日 平成20年 5月28日（水）

場 所 日本橋三越本店会議室（日本橋三越本店新館13階）

<評議員会>

- 議 題 第1号議案 平成19年度事業報告書及び決算に係る正味財産増減計算書、貸借対照表、キャッシュフロー計算書、財産目録並びに収支計算書案審議の件
- 第2号議案 理事7名選任の件
- 第3号議案 監事2名選任の件

<理事会>

- 議 題 第1号議案 平成19年度事業報告書及び決算に係る正味財産増減計算書、貸借対照表、キャッシュフロー計算書、財産目録並びに収支計算書案承認の件
- 第2号議案 評議員11名選任の件

<理事会>

- 議 題 第1号議案 理事長互選の件
- 第2号議案 常務理事互選の件
- 第3号議案 理事報酬の件
- 第4号議案 退任評議員に対する記念品贈呈の件

②開催日 平成20年12月 4日(木)
場 所 日本橋三越本店会議室(日本橋三越本店新館13階)
<評議員会>
議 題 報告事項
1. 上半期(4~9月)業績報告
2. 公益法人制度改革三法の施行に伴う事業団の対応について

<理事会>
議 題 報告事項
1. 上半期(4~9月)業績報告
2. 公益法人制度改革三法の施行に伴う事業団の対応について

③開催日 平成21年 3月24日(火)
場 所 日本橋三越本店会議室(日本橋本店新館13階)
<評議員会>
議 題 第1号議案 平成21年度事業計画案及び収支予算案審議の件
<理事会>
議 題 第1号議案 平成21年度事業計画案及び収支予算案承認の件

2. 登記事項

資産総額登記 平成20年 6月16日(月)

3. 報告事項

- ①外部監査実施 実施日:平成20年 5月16日(金)~20日(火)
監査人:アーク監査法人
- ② " 実施日:平成20年10月 9日(木)~10日(金)
監査人:アーク監査法人
- ③ " 実施日:平成21年 3月 4日(水)~ 6日(金)
監査人:アーク監査法人

平成20年 4月 1日から
平成21年 3月31日まで

平成20年度（第62年度）
収 支 計 算 書

財団法人 三越厚生事業団

収支計算書総括表

平成20年4月 1日から平成21年3月31日まで

(単位:円)

科 目	合計	一般会計	特別会計	内部取引消去
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 基本財産運用収入	120,598,518	120,598,518	0	0
② 特定資産運用収入	11,352,985	11,352,985	0	0
③ 事業収入	635,111,238	408,246,978	226,864,260	0
④ 雑収入	9,160,510	8,655,500	505,010	0
⑤ 他会計からの繰入金収入	0	1,429,831	0	△ 1,429,831
事業活動収入計	776,223,251	550,283,812	227,369,270	△ 1,429,831
2. 事業活動支出				
① 研究事業費支出	4,269,670	4,269,670	0	0
② 低額集団健診事業費支出	473,749,628	473,749,628	0	0
③ 健診報告懇話会事業費支出	963,881	963,881	0	0
④ 健診推進事業研究援助費支出	6,015,414	6,015,414	0	0
⑤ 助成事業費支出	21,619,611	21,619,611	0	0
⑥ 健康保持増進援助事業費支出	1,018,770	1,018,770	0	0
⑦ 保健衛生思想普及事業費支出	23,689,978	23,689,978	0	0
⑧ 管理費支出	89,726,165	89,726,165	0	0
⑨ 診療事業費支出	224,606,211	0	224,606,211	0
⑩ 法人税等	489,400	0	489,400	0
事業活動支出計	846,148,728	621,053,117	225,095,611	0
事業活動収支差額	△ 69,925,477	△ 70,769,305	2,273,659	△ 1,429,831
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
① 特定資産取崩収入	14,187,600	14,187,600	0	0
② 特定資産売却収入	50,000,000	50,000,000	0	0
③ 投資有価証券売却収入	50,000,000	50,000,000	0	0
④ 保険積立金解約収入	24,725,568	24,725,568	0	0
投資活動収入計	138,913,168	138,913,168	0	0
2. 投資活動支出				
① 特定資産取得支出	53,000,000	53,000,000	0	0
② 固定資産取得支出	14,187,600	14,187,600	0	0
③ 他会計への繰入金支出	0	0	1,429,831	△ 1,429,831
投資活動支出計	67,187,600	67,187,600	1,429,831	△ 1,429,831
投資活動収支差額	71,725,568	71,725,568	△ 1,429,831	1,429,831
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	0
2. 財務活動支出				
①リース債務返済支出	3,058,692	2,214,864	843,828	0
財務活動支出計	3,058,692	2,214,864	843,828	0
財務活動収支差額	△ 3,058,692	△ 2,214,864	△ 843,828	0
IV 予備費支出	0	0	0	0
当期収支差額	△ 1,258,601	△ 1,258,601	0	0
前期繰越収支差額	165,868,727	18,711,655	147,157,072	0
次期繰越収支差額	164,610,126	17,453,054	147,157,072	0

収支計算書

平成20年4月 1日から平成21年3月31日まで

一般会計

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 基本財産運用収入	120,600,000	120,598,518	1,482	
基本財産配当収入	120,600,000	120,598,518	1,482	
② 特定資産運用収入	12,500,000	11,352,985	1,147,015	
特定資産利息収入	12,500,000	11,352,985	1,147,015	
③ 事業収入	417,000,000	408,246,978	8,753,022	
低額集団健診事業収入	417,000,000	408,246,978	8,753,022	
集団健診事業収入	406,400,000	396,938,478	9,461,522	
産業医委嘱収入	10,600,000	11,308,500	△ 708,500	
④ 雑収入	17,600,000	8,655,500	8,944,500	
利息収入	10,000	13,625	△ 3,625	
投資有価証券運用収入	17,000,000	5,736,482	11,263,518	円高による外国債利金減
雑収入	590,000	2,905,393	△ 2,315,393	治験収入他
⑤ 他会計からの繰入金収入	0	1,429,831	△ 1,429,831	
事業活動収入計	567,700,000	550,283,812	17,416,188	
2. 事業活動支出				
① 研究事業費支出	4,670,000	4,269,670	400,330	
研究費支出	656,684	499,743	156,941	(注1)(注2)
学会費支出	1,030,000	993,500	36,500	
諸会費支出	1,030,000	1,006,300	23,700	
旅費交通費支出	560,000	426,685	133,315	
研修会謝礼金支出	144,443	144,443	0	(注1)
通信費支出	30,000	6,010	23,990	
消耗品費支出	11,870	11,870	0	(注1)
印刷製本費支出	147,000	147,000	0	(注1)
図書購入費支出	910,003	910,003	0	(注1)
雑支出	150,000	124,116	25,884	
② 低額集団健診事業費支出	475,716,364	473,749,628	1,966,736	
給料手当支出	124,329,545	122,529,545	1,800,000	(注2)
基準外給料支出	1,657,178	1,657,178	0	(注4)
賞与支出	44,119,364	44,119,364	0	(注3)
臨時雇賃金支出	15,497,685	15,443,000	54,685	(注2)
退職給付支出	14,267,000	14,267,000	0	(注3)
福利厚生費支出	27,539,042	27,539,042	0	(注2)
旅費交通費支出	5,518,030	5,518,030	0	(注2)
通信費支出	2,821,848	2,821,848	0	(注2)
什器備品費支出	339,879	339,879	0	(注4)
割賦・機器リース料支出	40,827,005	40,827,005	0	(注4)
支払利息支出	258,558	258,558	0	(注4)
消耗品費支出	11,296,804	11,296,804	0	(注4)
検査・材料費支出	63,956,515	63,956,515	0	(注4)
修繕費支出	13,100,863	13,100,863	0	(注2)
印刷製本費支出	5,065,349	5,065,349	0	(注4)
水道光熱費支出	4,625,558	4,625,558	0	(注4)
借室料支出	64,400,000	64,390,464	9,536	
火災保険料支出	100,000	35,237	64,763	
租税公課支出	9,779,248	9,779,248	0	(注4)
共益費支出	20,650,000	20,648,496	1,504	
清掃費支出	952,987	952,987	0	(注2)
雑支出	4,613,906	4,577,658	36,248	(注4)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
③ 健診報告懇話会事業費支出	980,000	963,881	16,119	
会場費支出	786,706	786,706	0	(注5)
講演謝礼金支出	55,555	55,555	0	(注5)
旅費交通費支出	5,000	5,000	0	(注5)
通信費支出	5,950	5,950	0	(注5)
雑支出	126,789	110,670	16,119	(注5)
④ 健康推進事業研究援助費支出	6,080,000	6,015,414	64,586	
研究援助費支出	6,000,000	6,000,000	0	
旅費交通費支出	4,586	0	4,586	(注6)
印刷製本費支出	40,000	0	40,000	
通信費支出	20,000	0	20,000	
雑支出	15,414	15,414	0	(注6)
⑤ 助成事業費支出	22,803,379	21,619,611	1,183,768	
医学研究助成金支出	20,500,000	20,500,000	0	(注7)
渡航助成金支出	1,081,288	0	1,081,288	(注7)(注9) 海外留学渡航費助成応募なし
助成選考謝礼金支出	560,000	500,000	60,000	
旅費交通費支出	20,000	0	20,000	
印刷製本費支出	94,500	94,500	0	(注7)
通信費支出	90,000	67,520	22,480	
雑支出	457,591	457,591	0	(注7)
⑥ 健康保持増進援助事業費支出	1,710,000	1,018,770	691,230	
援助費支出	693,010	110,000	583,010	(注8) 万歩クラブ援助金70万円減
協賛援助費支出	906,990	906,990	0	(注8)
旅費交通費支出	10,000	1,380	8,620	
雑支出	100,000	400	99,600	
⑦ 保健衛生思想普及事業費支出	23,718,944	23,689,978	28,966	
セミナー費支出	17,773,904	17,773,904	0	(注9)
広報費支出	4,259,780	4,259,780	0	(注9)
通信費支出	215,160	215,160	0	(注9)
印刷製本費支出	1,430,100	1,430,100	0	(注9)
雑支出	40,000	11,034	28,966	
⑧ 管理費支出	91,930,000	89,726,165	2,203,835	
役員報酬支出	28,694,000	28,694,000	0	(注10)
給料手当支出	14,690,250	14,690,250	0	(注10)
基準外給料支出	1,079,515	1,079,515	0	(注10)
賞与支出	5,200,000	4,927,000	273,000	
臨時雇賃金支出	2,622,750	2,468,050	154,700	(注10)
退職給付支出	0	0	0	(注10)
福利厚生費支出	5,269,003	5,269,003	0	(注10)
会議費支出	1,500,000	1,326,647	173,353	
旅費交通費支出	1,600,000	1,161,770	438,230	
交際費支出	1,200,000	811,404	388,596	
通信費支出	600,000	565,005	34,995	
什器備品費支出	521,943	521,943	0	(注10)
割賦・機器リース料支出	1,200,000	1,014,336	185,664	
支払利息支出	6,699	6,699	0	(注10)
消耗品費支出	1,000,000	767,658	232,342	
修繕費支出	900,000	814,520	85,480	
印刷製本費支出	1,590,465	1,590,465	0	(注10)
水道光熱費支出	601,342	601,342	0	(注10)
借室料支出	10,660,000	10,653,708	6,292	
火災保険料支出	50,000	35,237	14,763	
租税公課支出	700,000	483,580	216,420	
共益費支出	2,722,176	2,722,176	0	(注10)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
清掃費支出	135,228	135,228	0	(注10)
雑支出	9,386,629	9,386,629	0	(注10)
事業活動支出計	627,608,687	621,053,117	6,555,570	
事業活動収支差額	△ 59,908,687	△ 70,769,305	10,860,618	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
① 特定資産取崩収入	37,000,000	14,187,600	22,812,400	
退職給付引当資産取崩収入	12,000,000	0	12,000,000	取崩し発生せず
減価償却引当資産取崩収入	25,000,000	14,187,600	10,812,400	5階空調設備改善工事計画一部変更
減価償却引当預金取崩収入	0	14,187,600	△ 14,187,600	5階空調設備改善工事实施
② 特定資産売却収入	0	50,000,000	△ 50,000,000	
公益事業基金売却収入	0	50,000,000	△ 50,000,000	外国債強制償還による売却収入
③ 投資有価証券売却収入	0	50,000,000	△ 50,000,000	
債券30売却収入	0	50,000,000	△ 50,000,000	満期償還
④ 保険積立金解約収入	0	24,725,568	△ 24,725,568	
投資活動収入計	37,000,000	138,913,168	△ 101,913,168	
2. 投資活動支出				
① 特定資産取得支出	17,000,000	53,000,000	△ 36,000,000	
退職給付引当資産取得支出	12,000,000	0	12,000,000	取得支出発生せず
減価償却引当資産取得支出	5,000,000	3,000,000	2,000,000	
減価償却引当預金取得支出	0	3,000,000	△ 3,000,000	次年度空調工事費用の一部として積み増し
公益事業基金支出	0	50,000,000	△ 50,000,000	
生活習慣病予防事業基金預金支出	0	50,000,000	△ 50,000,000	外国債強制償還による売却収入振替
② 固定資産取得支出	0	14,187,600	△ 14,187,600	
建物付属設備購入支出	0	14,187,600	△ 14,187,600	5階空調設備改善工事实施
投資活動支出計	17,000,000	67,187,600	△ 50,187,600	
投資活動収支差額	20,000,000	71,725,568	△ 51,725,568	投資有価証券売却収入・保険積立金解約収入あり
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
① リース債務返済支出	0	2,214,864	△ 2,214,864	
リース債務返済支出	0	2,214,864	△ 2,214,864	
財務活動支出計	0	2,214,864	△ 2,214,864	
財務活動収支差額	0	△ 2,214,864	2,214,864	
IV 予備費支出	0	0	0	(注3)(注9)
当期収支差額	△ 39,908,687	△ 1,258,601	△ 38,650,086	
前期繰越収支差額	39,908,687	18,711,655	21,197,032	
次期繰越収支差額	0	17,453,054	△ 17,453,054	

収支計算書(一般会計)に対する注記

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収入金、貯蔵品、前払費用、買掛金、未払金、未払消費税等、預り金を含めている。
なお、前期末及び当期末残高は下記2に記載のとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	3,431,501	△ 2,399,644
未収入金	36,740,952	35,847,191
貯蔵品	824,633	569,885
前払費用	8,705,515	8,696,181
小計	49,702,601	42,713,613
買掛金	5,020,357	4,331,459
未払金	19,066,081	16,326,839
未払消費税等	1,838,343	1,793,136
預り金	5,066,165	2,809,125
小計	30,990,946	25,260,559
次期繰越収支差額	18,711,655	17,453,054

3 科目間の流用及び予備費の使用について

(1) 科目間の流用(注1～)

(注1) 予算科目のうち研究事業費—学会費支出より373,316円を研究事業費—研修会謝礼金支出、消耗品費支出、印刷製本費支出、図書購入費支出に流用した。

科 目
研究事業費支出—研修会謝礼金支出
研究事業費支出—消耗品費支出
研究事業費支出—印刷製本費支出
研究事業費支出—図書購入費支出
研究事業費支出—研究費支出

当初予算額	科目間流用額	流用後予算額
90,000	54,443	144,443
10,000	1,870	11,870
0	147,000	147,000
740,000	170,003	910,003
2,830,000	△ 373,316	2,456,684

(注2) 予算科目のうち低額集団健診事業費—臨時雇賃金支出より4,032,315円、研究事業費支出—研究費支出より1,800,000円を低額集団健診事業費—給料手当支出、福利厚生費支出、旅費交通費支出、通信費支出、修繕費支出、清掃費支出に流用した。

科 目
低額集団健診事業費支出—給料手当支出
低額集団健診事業費支出—福利厚生費支出
低額集団健診事業費支出—旅費交通費支出
低額集団健診事業費支出—通信費支出
低額集団健診事業費支出—修繕費支出
低額集団健診事業費支出—清掃費支出
低額集団健診事業費支出—臨時雇賃金支出
研究事業費支出—研究費支出

当初予算額	科目間流用額	流用後予算額
120,000,000	4,329,545	124,329,545
26,970,000	569,042	27,539,042
5,100,000	418,030	5,518,030
2,510,000	311,848	2,821,848
12,920,000	180,863	13,100,863
930,000	22,987	952,987
19,530,000	△ 4,032,315	15,497,685
2,456,684	△ 1,800,000	656,684

(注3) 予算科目のうち予備費より11,986,364円を低額集団健診事業費—賞与支出、退職給付支出に流用した。

科 目
低額集団健診事業費支出—賞与支出
低額集団健診事業費支出—退職給付支出
予備費

当初予算額	科目間流用額	流用後予算額
37,100,000	7,019,364	44,119,364
9,300,000	4,967,000	14,267,000
14,468,687	△ 11,986,364	2,482,323

(注4) 予算科目のうち低額集団健診事業費—基準外給料支出より1,242,822円、什器備品支出より110,121円、
 割賦・機器リース料支出より1,022,995円、租税公課支出より1,380,752円、雑支出より76,094円を低額集団
 健診事業費—支払利息支出、消耗品費支出、検査・材料費支出、印刷製本費支出、水道光熱費支出に流用した。

科 目	当初予算額	科目間流用額	流用後予算額
低額集団健診事業費支出—支払利息支出	0	258,558	258,558
低額集団健診事業費支出—消耗品費支出	9,300,000	1,996,804	11,296,804
低額集団健診事業費支出—検査・材料費支出	63,240,000	716,515	63,956,515
低額集団健診事業費支出—印刷製本費支出	4,650,000	415,349	5,065,349
低額集団健診事業費支出—水道光熱費支出	4,180,000	445,558	4,625,558
低額集団健診事業費支出—基準外給料支出	2,900,000	△ 1,242,822	1,657,178
低額集団健診事業費支出—什器備品費支出	450,000	△ 110,121	339,879
低額集団健診事業費支出—割賦・機器リース料支出	41,850,000	△ 1,022,995	40,827,005
低額集団健診事業費支出—租税公課支出	11,160,000	△ 1,380,752	9,779,248
低額集団健診事業費支出—雑支出	4,690,000	△ 76,094	4,613,906

(注5) 予算科目のうち健診報告懇話会事業費支出—通信費支出より14,050円、健診報告懇話会事業費支出—雑支出より
 43,211円を健診報告懇話会事業費支出—会場費支出、講演謝礼金支出、旅費交通費支出に流用した。

科 目	当初予算額	科目間流用額	流用後予算額
健診報告懇話会事業費支出—会場費支出	750,000	36,706	786,706
健診報告懇話会事業費支出—講演謝礼金支出	40,000	15,555	55,555
健診報告懇話会事業費支出—旅費交通費支出	0	5,000	5,000
健診報告懇話会事業費支出—通信費支出	20,000	△ 14,050	5,950
健診報告懇話会事業費支出—雑支出	170,000	△ 43,211	126,789

(注6) 予算科目のうち健康推進事業研究援助費支出—旅費交通費支出より5,414円を健康推進事業研究援助費支出
 —雑支出に流用した。

科 目	当初予算額	科目間流用額	流用後予算額
健康推進事業研究援助費支出—雑支出	10,000	5,414	15,414
健康推進事業研究援助費支出—旅費交通費支出	10,000	△ 5,414	4,586

(注7) 予算科目のうち助成事業費支出—渡航助成金支出より592,091円を助成事業費支出—医学研究助成金支出、
 印刷製本費支出、雑支出に流用した。

科 目	当初予算額	科目間流用額	流用後予算額
助成事業費支出—医学研究助成金支出	20,000,000	500,000	20,500,000
助成事業費支出—印刷製本費支出	90,000	4,500	94,500
助成事業費支出—雑支出	370,000	87,591	457,591
助成事業費支出—渡航助成金支出	3,000,000	△ 592,091	2,407,909

(注8) 予算科目のうち健康保持増進援助事業費支出—援助費支出より106,990円を健康保持増進援助事業費支出—
 協賛援助費支出に流用した。

科 目	当初予算額	科目間流用額	流用後予算額
健康保持増進援助事業費支出—協賛援助費支出	800,000	106,990	906,990
健康保持増進援助事業費支出—援助費支出	800,000	△ 106,990	693,010

(注9) 予算科目のうち助成事業費支出—渡航費助成支出より1,326,621円、予備費より2,482,323円を保健衛生思想
 普及事業費—セミナー費支出、広報費支出、通信費支出、印刷製本費支出に流用した。

科 目	当初予算額	科目間流用額	流用後予算額
保健衛生思想普及事業費支出—セミナー費支出	14,800,000	2,973,904	17,773,904
保健衛生思想普及事業費支出—広報費支出	3,500,000	759,780	4,259,780
保健衛生思想普及事業費支出—通信費支出	180,000	35,160	215,160
保健衛生思想普及事業費支出—印刷製本費支出	1,390,000	40,100	1,430,100
助成事業費支出—渡航助成金支出	2,407,909	△ 1,326,621	1,081,288
予備費	2,482,323	△ 2,482,323	0

(注10) 予算科目のうち管理費－給料手当支出より2,309,750円、臨時雇賃金支出より377,250円、退職給付支出より1,000,000円、福利厚生費支出より1,230,997円を管理費－役員報酬支出、基準外給料支出、什器備品費支出、支払利息支出、印刷製本費支出、水道光熱費支出、共益費支出、清掃費支出、雑支出に流用した。

科 目	当初予算額	科目間流用額	流用後予算額
管理費－役員報酬支出	28,500,000	194,000	28,694,000
管理費－基準外給料支出	800,000	279,515	1,079,515
管理費－什器備品費支出	200,000	321,943	521,943
管理費－支払利息支出	0	6,699	6,699
管理費－印刷製本費支出	900,000	690,465	1,590,465
管理費－水道光熱費支出	600,000	1,342	601,342
管理費－共益費支出	2,690,000	32,176	2,722,176
管理費－清掃費支出	130,000	5,228	135,228
管理費－雑支出	6,000,000	3,386,629	9,386,629
管理費－給料手当支出	17,000,000	△ 2,309,750	14,690,250
管理費－臨時雇賃金支出	3,000,000	△ 377,250	2,622,750
管理費－退職給付支出	1,000,000	△ 1,000,000	0
管理費－福利厚生費支出	6,500,000	△ 1,230,997	5,269,003

収支計算書

平成20年4月 1日から平成21年3月31日まで

特別会計

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 事業収入	233,000,000	226,864,260	6,135,740	
診療報酬収入	233,000,000	226,864,260	6,135,740	
② 雑収入	400,000	505,010	△ 105,010	
事業活動収入計	233,400,000	227,369,270	6,030,730	
2. 事業活動支出				
① 診療事業費支出	231,790,000	224,606,211	7,183,789	
給料手当支出	71,000,000	71,235,374	△ 235,374	
基準外給料支出	2,000,000	3,185,419	△ 1,185,419	
賞与支出	22,800,000	24,898,000	△ 2,098,000	
臨時雇賃金支出	20,000,000	18,661,821	1,338,179	
退職給付支出	1,000,000	324,000	676,000	
福利厚生費支出	17,000,000	16,272,472	727,528	
旅費交通費支出	2,100,000	1,853,190	246,810	
通信費支出	350,000	318,412	31,588	
什器備品費支出	200,000	229,270	△ 29,270	
割賦・機器リース料支出	12,000,000	10,489,699	1,510,301	
支払利息支出	0	59,718	△ 59,718	
消耗品費支出	2,800,000	2,949,208	△ 149,208	
修繕費支出	3,000,000	1,838,167	1,161,833	
検査・材料費支出	14,000,000	12,587,975	1,412,025	
薬品費支出	11,000,000	10,127,844	872,156	
印刷製本費支出	1,000,000	947,638	52,362	
水道光熱費支出	2,300,000	2,299,239	761	
借室料支出	32,020,000	32,006,640	13,360	
火災保険料支出	50,000	35,236	14,764	
租税公課支出	2,000,000	1,748,572	251,428	
共益費支出	10,270,000	10,263,768	6,232	
清掃費支出	900,000	917,285	△ 17,285	
雑支出	4,000,000	1,357,264	2,642,736	
② 法人税等	0	489,400	△ 489,400	
法人税・都民税支出	0	489,400	△ 489,400	
事業活動支出計	231,790,000	225,095,611	6,694,389	
事業活動収支差額	1,610,000	2,273,659	△ 663,659	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
① 特定資産取崩収入	1,000,000	0	1,000,000	
退職給付引当資産取崩収入	1,000,000	0	1,000,000	
投資活動収入計	1,000,000	0	1,000,000	
2. 投資活動支出				
① 特定資産取得支出	1,000,000	0	1,000,000	
退職給付引当資産取得支出	1,000,000	0	1,000,000	
② 他会計への繰入金支出	0	1,429,831	△ 1,429,831	
一般会計への繰入金支出	0	1,429,831	△ 1,429,831	
投資活動支出計	1,000,000	1,429,831	△ 429,831	
投資活動収支差額	0	△ 1,429,831	1,429,831	

科 目	予算額	決算額	差異	備 考
Ⅲ 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
①リース債務返済支出	0	843,828	△ 843,828	
リース債務返済支出	0	843,828	△ 843,828	
財務活動支出計	0	843,828	△ 843,828	
財務活動収支差額	0	△ 843,828	843,828	
Ⅳ 予備費支出	0	0	0	
当期収支差額	1,610,000	0	1,610,000	
前期繰越収支差額	147,157,000	147,157,072	△ 72	
次期繰越収支差額	148,767,000	147,157,072	1,609,928	

収支計算書(特別会計)に対する注記

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収入金、貯蔵品、前払費用、買掛金、未払金、未払消費税等、未払法人税等を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は下記2に記載のとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位:円)

科 目				前期末残高	当期末残高
現	金	預	金	129,327,291	129,634,890
未	収	入	金	24,042,767	21,419,858
貯		蔵	品	520,018	505,424
前	払	費	用	3,557,178	3,764,598
小			計	157,447,254	155,324,770
買		掛	金	1,215,274	1,335,736
未		払	金	6,934,851	6,005,698
未	払	消	費	345,357	336,864
未	払	法	人	1,794,700	489,400
未		税	等		
未		税	等		
小			計	10,290,182	8,167,698
次	期	繰	越	147,157,072	147,157,072
収	支	差	額		